

自動車
損害賠償
保障法と
は

障してはいます。
日本保険会社がタックアップして保
険にしています。
私達の生活が妨げはなしてと覚え
られなければ、最大切交金通關つて
いて、圓満的な制度をぞう
て見ることになりますよ。
死者に最高三万円
保険にふないと

この二月一日から施行されて
いる自動車損害賠償補償法は、事
故ももちろん賠償しても感でござ
います。被害者が陥ちた後
おれらのでの手続きは、まず警察
代理店、所定の医者に事故現場
損傷調査、病状の診断書、事故
説明書、警察検定ひき添えて、
政司明書、警察検定ひき添えて、

全国の交通事故は毎年増加の一途を辿り、二十九年度は死者六千三百七十名で、傷者は七万名を超えています。この事故の原因を究明

運輸ができない
 保険会社に提出すればよい

死者三十万円
 重傷者十万円
 軽傷三万円

す、皇座の万が一責任のあるのが、約八割に上っています。これをまたどのような交通事故の死者等の補償は、加害者の遺族がわかつたときとは、全く別の場合、所謂交通事故ではあるが、普通ですが、大抵の場合トロッコ運転者の誤と見れば、運転者自身加害能力のない場合の方が多くなつて、ほんの疑念論で、被害者に不満があるが、泣き寝入りとする。

以上の事を公平に採擇して日本火災海上保険会社
日本火災海上保険会社
日本火災海上保険会社
日華火災海上保險公社
の各並立機関を設けています

④ 國公社及び都府県、五大中の自動車による場合は、それれに損害者に請求します。

馬入川渡し場の蹟

奥山は、鶴山梨産地に接し、蜿蜒
 えんえん、相相の州を重々、
 平野市街の地に相出を重々、
 と流を待たない、中流を横川
 と称し、下流を奥川と稱す。
 夏運遣を交へて、^{（註）}したと
 ころの遊樂船が殆んど、これを
 曳く、即ち舟を、わしは遊樂船
 である、遊し場もある、江戸
 未だに徒船船、平田船、鶴
 船、船二隻を備へ、一機に失
 三つづつを配してゐた。その
 の傍には船舎があつた。そこ
 に付室、川舟客は舟に御し、
 つかひの遊藝事務を処理して
 ゐた。

奥山と横川と、水を挾
 いた村に在り、大郡須賀村、
 高郡の鶴村、下町巖村、今宿
 村、松尾村、鶴原村を定めて、
 街衢の通儀の多い各々は、大住
 郡田村、大神村、戸田村、高
 郡の田原村、一之宮村、門原
 中田田村、河原口村、栗留郡木
 下等々を、^{（註）}鶴村の村を定めて、
 下等々をみながた。これらの
 村を助郷（すけごう）と称す。
 當郡須賀村、地域御隣接して
 いたために、磐屋郡、〇〇〇〇
 村、〇〇〇〇村、〇〇〇〇村、
 大目平均して船五艘、水船
 二〇〇〇隻を配されてゐた。

〇

招徠

5月1日-31日
『白い羽根』
日赤募金運動始
赤十字社員は100円以上
是非社員に御加入下さい

一 五月十日から六月十五日

一等陸士 九、〇〇〇名
 二等陸士 五、〇〇〇名
 一等海士 九、〇〇〇名
 二等海士 五、〇〇〇名
 砲兵資格 九、〇〇〇名
 年令 昭和六年一月一日現在の間に
 及昭和七年一月一日までの間に
 生まれし心身健全な男子を原
 則として抽身者
 並に 新制中學校卒業程度以上
 の学力を有する者
 交付期間

志願者手続
 志願者市役所事務課
 庶務科に志願票一通を提出し
 くれし所事務課記入人より
 市役所事務課は抽出
 出し下す
 その他
 本年はあの大分八月十六
 日投票の日定めて
 尚詳細は、市役所事務課
 へ合せ下さい。

新緑に映ゆる行楽の好季節

時山金根箱
相互の親睦と健康の増進を
目的として、同好者相聚の
近郊の好菜地、箱根金時山
へハイキングに参しました
一日を廻すごことになりましたの
で、多数御参加下さるすお待ち
しております。

勝でもあった。江戸時代の画家、谷文晁も、田川林合も、安藤広重（番）まで申し

も、喜望峯も、それぞれこの風景を見たと描いている。ここから見た龍山、草山、丹波湖の眺めは、四季を添へずは似つからざる。まづ海邊往ける風趣のこせに、詩満のいも驚くもの。

馬入驛、場所は、明治初年、馬入驛が築かれたまで統一した。現在の鉄筋コンクリートによるものは大正十一年の架橋になったのである。嵯峨野は、平野、麓に三米、嵯峨當時は、桑、櫟、榎と云うが、三十年後の日からは、如くに、も機織の浜、閑居なものとなつてしまつた。

嵯峨は、東川沿ひの驛。

市役所

総務課

四月、日かからず、従の各課が、四月十日、すは、お出で、からを組つて、

総務課 財政課
月一日から行政機構の改
革の各課が整理統合され
四月十日発行の平塚市
に通知せしめたが
母を以て各課の内容が

写真が、何故

て、簡単に
総務
 一、課
 総務課は本
 ころにあり
 二、係
 課長のもと
 員二、運転
 (係長一、
 使了十、給
 長一係員三
 れぞれの行
 三、係
 秘書係
 とや、人事
 に関する事

と化した空
出ていたこと

二つあり。
（一）係長二、三席務
電話交換手
計七名に
分かれ、
ています。

い事務
役に関する
こと、市職
抜っており

り、各地の

保——文藝並ひに整備隊員の募集、他課の主管に於て扱つておられる訴訟、広報係——日本に關すること、日本ことなどを、広報紙も、

見渡せば

發送及び
すること、野
平委員会
こと、そ
い事項を
皆さんか
とはここ
など一般
活動に関
協会に関
ります。
編集発行

かてきない
れませんが

政 課
課の位置
本庁舎の二三
ります。
係及び人員
とに企画財
給仕二」と
三の二係に
分担に従つ
ります。
係別の取扱
係——市の
公布に關す
すること、
整備に關す

並 加

併の
関す
うき
の計
ます
出に
とや
裏に
てい
経運
び支
なら
その
おり
の
市
究
河

1

議会の招集
さらに市の
や、その他
る業務を行
収入役から
算の審査に
情の作成な
となどの専
給与、旅費
関する収支
の執行に關
関する業務
お監査委員
て行ってい

(藤 沢 市 営)

5月 19日 20日 21日 22日
(土) (日) (月) (火)